

授業科目名	総合科目 B		
英文名	Comprehensive Subjects B		
大学	4学科共通 コース指定なし	開講学年	4年次
区分	教養教育科目	開講期間	半期
必選区分	選択	単 位	2単位
担当教員	服部 慶亘		
研究室	教養・教職科長(窓口) TEL 045-963-7995 社会科学研究室 (3403=3街区4階) TEL 03-5706-0975		

[授業科目のねらい・到達目標]

最近、すぐに「切れる」「ムカつく」子供が増えている。そのような子供たちによって引き起こされる犯罪は、凶悪化、陰湿化の度合いを増している。この講義では、主として社会学の考え方を基礎としつつ、将来「指導者」として子供たちと関わる機会が多くなるであろう学生たちと共に、現実の問題を理解する。

[授業の方法]

講義による。毎回、数名に質問しながら、対話とシュミレーションを展開しつつ話を進めていく。ただ単に座って耳を傾けるだけではなく、積極的に授業に参加する意気込みなくして好成績(高成績)は得られない。それなりの意識を持って参加するように。

[授業の展開計画]

授 業 の 内 容	
1週目	ガイダンス(講義および社会学考察の目的、展開方法、評価についての確認)
2週目	問題行動を考える前に 人間の行動と環境の関係
3週目	問題行動を考える前に 絶対状況と相対状況
4週目	問題行動を考える前に ストレスとストレッサー
5週目	問題行動を考える前に レディネス
6週目	問題行動の根源 概論
7週目	問題行動の根源 罪の認識
8週目	問題行動の根源 実験演習
9週目	問題行動の誤対処 アノミー
10週目	問題行動の誤対処 人生縮小化
11週目	問題行動の誤対処 リセット願望、リロード願望
12週目	問題行動の誤対処 癒し、甘え
13週目	問題行動の誤対処 防衛機制、価値判断
14週目	現代的な問題点(視聴覚教材を使用)
15週目	まとめ

[成績の評価方法・基準内容]

1. 講義期間中、何回かリアクションペーパーを作成してもらう。その点数を平常点として加味する。
2. 出席状況・最終レポートを総合的に評価する

[受講生に対するメッセージ]

世の中は、「自分の思い通りに行くものではない!」ということを理解しなくては、社会生活を成り立たせることができない。では、どうすれば良いのか…と、そんな疑問を自分で解明する術を身につけておかななくては、問題行動を起こしている相手を説得することは出来ない。本講義では、受講学生にとって身近な話題を取り入れ、あまり堅苦しくない雰囲気のもとで客観的なものの見方(とらえ方)を修得できるようにしたいと考えている。

[教科書 テキスト 参考文献 指定図書]

	書 名	著・編者名	出版社	出版年
1	補強版ストレス・スパイラル - 悩める時代の社会学	服部慶亘	人間の科学社	2004.3